



信州高遠美術館では、 高遠町出身の日本画家 池上秀畝の生誕150年を 記念し、特別展を開催 します。

池上秀畝は、1874年に高遠町の紙商兼小間物問屋の次男として生まれ、祖父休柳、父秀花と画家の家系に育ち、幼少の頃から絵に親しんでいました。1889年に上京、当時まだ無名だった荒木寛畝に師事、内弟子として修業し、日本美術協会展、文展、帝展などに出品しました。1916年から3年連続で文展特選を受賞、伝統に立脚しながら、写実に基づく山水画・花鳥画を追求しました。師匠寛畝の死後自らの画塾「伝神洞」を主宰し、後進の指導にも尽力しました。昭和に入ると秀畝の作品にも時代を反映した作品が多く見られます。一方で、1939年、ニューヨーク万博に《黎明》を出品するなど日本文化の紹介、国際親善にも努力しました。

秀畝は、1944年に東京谷中の自宅で亡くなるまで、衰えることなく描き続け、努力を惜しまずに純粹に画道を求め続けました。展覧会名にある「気韻生動」とは、日本画の源流である中国絵画の世界で生まれた言葉で、「被写体の持つエネルギーを描く」という意味合いがあります。絵を描いたり評価する際に大事にしなくてはならない6つの決まりごとのひとつであり、その中でも最も重要とされたものです。本展では、日本画の神髄とも言える「気韻生動」を体現した秀畝の花鳥・歴史画の作品を展覧し、秀畝の師匠や弟子、同時代に活躍した中村不折、小坂芝田ら郷土作家の作品を合わせて展示します。



①池上秀畝《鶴松図》1938年 絹本金地着色 六曲一双屏風
②池上秀畝《清塘奇遇》1927年 絹本着色 軸装 第8回帝展出品作
③池上秀畝《武者図》制作年不詳 絹本着色 六曲屏風
④写真：画室の池上秀畝

主催：伊那市、伊那市教育委員会、信州高遠美術館

後援：長野県、信濃毎日新聞社、中日新聞社、読売新聞長野支局、朝日新聞長野総局、毎日新聞長野支局、時事通信社長野支局、共同通信社長野支局、市民新聞グループ、アド・コマーシャル、アド・プランニング、(公財) 信毎文化事業財団、(公財) 八十二文化財団、SBC 信越放送、NBS 長野放送、TSB テレビ信州、abn 長野朝日放送、FM 長野、長野日報社、伊那ケーブルテレビジョン、伊那市有線放送農業協同組合、信州美術会伊那支部、伊那美術協会、伊那市民美術会、伊那市観光協会



割引 本チラシまたは、本チラシ表面掲載館の池上秀畝生誕150年展半券を当館受付にお持ちいただくと、入館料が100円割引になります。(他の割引との併用不可/チラシまたはチケット1枚につき1グループ様適用)

アクセス・交通

中央自動車道

- 伊那 I.C. から国道 361 号を經由 30 分
- 諏訪 I.C. から国道 152 号を經由 50 分
- 小黒川スマート I.C. から 25 分

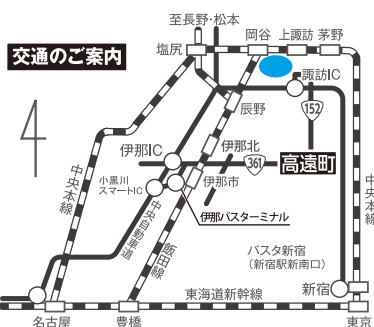
JR 飯田線

- 伊那バスターミナル・伊那北駅から高遠線 JR バス 25 分で高遠駅。高遠駅から徒歩 25 分



信州高遠美術館

〒396-0213 長野県伊那市高遠町東高遠 400
TEL 0265-94-3666 FAX 0265-94-3936
MAIL t-bjk@inacity.jp



※さくら祭りの会期中は、美術館周辺の駐車場は有料です。
※混雑時、普通車は高遠城跡公園方面及び、美術館周辺へ入ることができませんのでご注意ください。